

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月18日

計画の名称	都市の総合的防災性の向上 第2期												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	目黒区												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防災上、危険な密集市街地において、道路、公園、広場等の地区公共施設整備により、災害の初期段階での避難活動、消防活動の円滑化を図り、地区の防災性の向上を図る。 ・避難地や避難路、延焼遮断帯等の周辺における建築物の不燃化を促進し、災害時における避難の安全性と延焼防止機能の確保を図る。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	157	A	151	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	3.82	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	・広域避難場所である都立林試の森公園への重要な避難路となる補助第46号線を避難路として沿道の不燃化を促進する。 1.目黒本町五丁目地区既存不燃化率51.2%から70.0%に増加。 補助46号線目黒本町五丁目地区における不燃建築物の割合(%) 不燃化率 = (耐火建築物の建築面積 + 準耐火建築物の建築面積 × 0.8) ÷ (全建築物の建築面積) × 100(%)	51%	63%	70%
2	2.原町一丁目・洗足一丁目地区既存不燃化率49.3%から57.6%に増加。 補助46号線原町一丁目・洗足一丁目地区における不燃建築物の割合(%) 不燃化率 = (耐火建築物の建築面積 + 準耐火建築物の建築面積 × 0.8) ÷ (全建築物の建築面積) × 100(%)	49%	53%	58%
3	・広域避難場所周辺の道路の拡幅整備を行う。 1.都立林試の森公園周辺の道路整備計画で主要な防災道路への重要な避難路となるB路線(石古坂)の拡幅整備を行う。 拡幅整備延長約90m 林試の森公園周辺道路B路線(石古坂)の整備率(%) (整備済み延長) ÷ (整備延長) × 100(%)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	目黒区	間接	個人	-	-	補助46号線目黒本町五丁目地区都市防災不燃化促進事業	不燃建築物に対する建築工事費助成(3.03ha)	目黒区						100	-	
	A13-002	都市防災	一般	目黒区	間接	個人	-	-	補助46号線原町一丁目・洗足一丁目地区都市防災不燃化促進事業	不燃建築物に対する建築工事費助成(3.3ha)	目黒区						51	-	
	A13-003	都市防災	一般	目黒区	直接	目黒区	-	-	目黒区地区公共施設整備	広域避難場所周辺道路整備(約90m)	目黒区						0	-	
												小計						151	
												合計						151	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目黒区木造住宅密集地域整備等に係る事業評価実施要領に基づき、木密地域整備課内にて評価の内容及び対応方針案の検討を行い、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、要因を分析する。	令和3年3月
	公表の方法
	目黒区のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・都市防災不燃化促進事業による耐火建築物への建築工事費の助成によって、広域避難場所である都立林試の森公園や東京工業大学への重要な避難路となる補助第46号線沿道の建築物の不燃化が促進されて不燃化率が上昇した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・本事業により建替えの機運が高まっている状況で、沿道にある目黒本町五丁目24番街区で防災街区整備事業を活用し、土地を一体的かつ合理的に利用した共同建替えを実施。平成28年10月に工事完了に至った。 ・本事業により補助46号線沿道の延焼遮断帯の形成に必要な沿道建築物の不燃化を達成した。（目黒本町五丁目地区） ・補助46号線沿道の不燃化率が上昇したことに伴い、不燃化特区などにおける不燃領域率の上昇にも寄与した。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・補助46号線目黒本町五丁目地区の都市防災不燃化促進事業は、予定していた事業期間が終了を迎え、当初目標についてもR2年度には達成が見込めることから、事業終了する。 ・広域避難場所である東京工業大学への重要な避難路となる補助第46号線沿道の不燃化を引き続き促進する。（補助46号線原町一丁目・洗足一丁目地区） ・広域避難場所周辺の道路の拡幅整備の実績向上に向けた事業の進み方について検討していく。（都立林試の森周辺の道路B路線） 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	補助46号線目黒本町五丁目地区における不燃建築物の割合		
	最終目標値	70%	地権者をまとめるのに時間を要した民間主導のマンションがあり、事業期間内に竣工できず、不燃建築物の割合に反映できなかった。なお、令和2年度中に竣工したことにより70%を超えることが確認できている。
最終実績値	69%		
2	補助46号線原町一丁目・洗足一丁目地区における不燃建築物の割合		
	最終目標値	58%	当初の計画よりも沿道の用地買収及び建替えが進んだため。
最終実績値	61%		
3	林試の森公園周辺道路B路線（石古坂）の整備率（%）		
	最終目標値	100%	用地取得については、地権者の建替え時に合わせて行っていたが、当初の計画よりも建替えが進まず、用地買収まで土地所有者との協議が進まなかった。
最終実績値	0%		

